

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年10月20日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

- 司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。
- 大熊総務課長 それでは、私からお手元の広報日程に基づきまして補足説明を本日は2件申し上げます。

まず、1件目でございます。1. 原子力規制委員会でございますが、(1) でございますように、第45回の原子力規制委員会臨時会議を10月23日月曜日、午後を開催いたします。こちらは核物質防護に関する情報を取り扱うため、非公開にて開催をさせていただきます。議題は2点でございます。

まず、議題の1「核物質防護事案の初動対応について」でございます。こちらにつきましては、先日18日の委員会におきまして原子力災害対策初動対応マニュアルの整備方針が審議され、了承されたところでございます。その中で、テロ等への対策についてもマニュアルの中に追加をすることとされましたことを踏まえまして、その手順に係る方針について検討を行うというものでございます。

続きまして、議題の2は「原子力発電所の廃止措置に伴う防護措置の変更認可に関する対応方針について」とされております。こちらの内容でございます。現在、複数の原子炉におきまして、廃止措置が実施をされているところでございます。そのことを踏まえまして、廃止措置の進捗に応じて適切な防護措置が講じられるように、防護措置の変更認可に関する対応方針について検討を行うということを予定しているものでございます。

続きまして、2ページ目、一番下でございます。委員の現地視察の予定が1件入っております。こちらは田中委員が10月27日に行う予定の現地視察でございます。対象としては、茨城県東海村の三菱原子燃料株式会社及び原子力機構の原子力科学研究所、また、核燃料サイクル工学研究所の視察を行うという予定でございます。

こちらの視察の内容でございますが、今後のウラン系廃棄物の埋設に係る規制基準の検討に資するために、廃棄物の発生から保管までの状況について確認を行うということを予定しているものでございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

1点だけ聞かせてください。田中知委員の視察ですけれども、この間、事故を起こした燃料研究棟でしたか、あそこも視察される御予定ですか。

○大熊総務課長 事故を起こした燃料研究棟というのは、どこの部分を。

○記者 これは違うのかしら。JAEAの大洗の方は行かないのですね。

○大熊総務課長 大洗は対象に入っておりません。

○記者 入っていないのですね。失礼しました。

○司会 御質問のある方。カンダさん。

○記者 時事通信、カンダです。

非公開の会議の議題の2番目の廃止措置に伴う対応方針という部分なのですけれども、これは何か具体的なプラントの対応方針を決めるわけではなくて、全般的なことですか。

○大熊総務課長 全般的なことであります。何件かのプラントの廃止措置が進んでいまして、核物質防護規定の変更認可というものが順次進んでいくことになりますので、それに対してどういう方針で認可を行っていくかという全般的な議論を行うということでございます。

○記者 これは何か非公開にする意味というのはあるのですか。要は、具体的なプラントで、この施設に入っているものはこうするということのだったら分かるのですけれども、対応方針みたいなもので非公開の中に入れられたというのも珍しいなという気がするのですけれども、この辺は何なのでしょう。

○大熊総務課長 御指摘の点はよく理解できますが、やはり議論の中で個別のものについて議論が及ぶという可能性が十分ございますので、会議自体は非公開とさせていただいておりますけれども、現段階では、資料については、終了後かと思いますが、公表することを考えております。

○記者 それは何か成果物というか、こういう対応方針でというのは何に最後はなってくるのですか。

○大熊総務課長 この資料を踏まえて議論が行われて、本当に最終的にどうなるかといいますと、個別の核物質防護規定の変更の認可申請が来て、それに対して変更認可を行っていく際の個別の判断に反映されていくということだと承知をしております。

○記者 では、何か書き物が変わるというわけではなくて、実際の変更認可の審査のときの運用に反映されるという理解でいいですか。

○大熊総務課長 そのように理解しております。

○司会 御質問のある方。ドイさん。

○記者 電気新聞のドイです。

来週の田中知委員の現地視察なのですけれども、先ほど課長がおっしゃった内容というのは、行く3施設に共通することという理解でよろしいのでしょうか。

○大熊総務課長 視察の目的については、3施設に共通しております。

○記者 三菱原子燃料は今、審査書案が出ているかと思うのですけれども、そのこととは直接関係はしない、今回の視察は関係しないということですか。

○大熊総務課長 直接関係いたしません。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 では、どうぞ。

○記者 NHKのフジオカです。

来週の26と27の審査会合なのですけれども、これは両方とも、確認なのですけれども、東海第二の審査ということになりそうですか。

○大熊総務課長 26、27の審査会合については、議題の詳細はまだ未定でございます。決まりましたら、またお知らせをさせていただきたいと存じます。

○司会 よろしいでしょうか。

○大熊総務課長 ちょっと私から。済みません。

先ほど御質問いただいた件で、臨時会議の議題の2について、今後、何に影響してくるかということなのですけれども、委員会での議論によってということが当然前提としてあるわけですけれども、今後審査していく際の基準等にもかかわってくる可能性があるようでございます。詳細は資料その他を確認いただければと思います。よろしく願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—